

株式会社ナカムラ

人と車を繋ぐ ヒューマン・エネルギー・サポーター

創業109年、一貫して石炭から石油へとエネルギーの供給を担い、同時に増大する車社会のサポーターとして自動車の販売・車検・整備・钣金そしてレンタカー・カーリース・保険など人と車に必要なもの全てをご提供できるよう挑戦して参ります。

商号	株式会社ナカムラ
本社	〒670-0852 姫路市国府寺町72
創業年	1913年(大正2年)3月
設立年	1951年(昭和26年)4月
資本金	4,500万円
従業員数	182名(2021年9月現在)
事業内容	ENEOSガソリンスタンド11か所(姫路市内及び神戸)、自動車整備工場・車検場・钣金工場(姫路市内)、オリックスレンタカー営業所(姫路・尼崎)、タイヤ専門ショップ

企業の生い立ち・創業の原点

当社の歴史は、1889年(明治22年)山口県下松市に生まれた中村源助が1913年(大正2年)に姫路飾磨の地に石炭・練炭・コークスの販売を創業したことに始まる。当初は福山共栄合資会社の名のもと初代代表者に就任し、その後社名を中村石炭商店に改め、本店を姫路市国府寺町に移転。姫路を拠点に九州地方の炭鉱を仕入先として若松に支店を置き、大阪にも出張所を置くなど、業容拡大に奔走した。第1次・第2次世界大戦を生き抜き、朝鮮戦争などを経て昭和26年に(株)中村商店に改組。昭和30年代には石炭販売を名古屋にまで拡げ、販売網を海上にまで拡大していった。



初代開設の本店

エネルギー革命への挑戦(石油の世紀)

戦後の復興が徐々に立ち上がる中、時代は高度成長期を迎え、エネルギーの中心は石炭から石油へとシフトしていく。そんな中2代目社長を受け継いだ中村壽雄は経営の軸を石炭から石油へ移していく。昭和35年 岡山県水島に石油コンビナートが開設され、カクタスマークの日本鉱業と特約店契約を結び、石油販売に邁進。姫路を中心に直営ガソリンスタンドを次々と建設。昭和40年には日本鉱業が共同石油に名称変更されるも、共石マークを姫路・神戸・大阪・名古屋と直営網を25か所建設、また兵庫県内に25か所の販売店を設置。拡大するモーターゼイションに対応し高速道路にも給油所を設置。一方、車のメンテナンスを担う整備工場も建設し、カーアフターマーケット需要にも対応した。



石油販売初期のカクタスマーク

人と車を繋ぐヒューマン・エネルギー・サポーターとして

高度成長の時代も終わり、人々の求める価値も変化してきた平成、令和の時代を迎え、会社の基本戦略を石油中心から車中心にシフトし、人と車を繋ぐヒューマン・エネルギー・サポーターとして人と車に必要なものをご提供できる体制を構築すべく昭和49年に社名も(株)ナカムラに変更し、カーリースの展開、オリックスレンタカー営業所の設置、钣金工場の設置・保険販売の充実、ミシュランタイヤ専門ショップの設置などを図って参りましたがこれからの時代は更にSDGsに象徴されるカーボンニュートラルに対応していかなければなりません。更なる努力を積み重ね時代の要請に応えていけるよう精進して参りたいと考えております。



今宿整備工場



オリックスレンタカー営業所



北条サービスステーション

since
1913